



2020年10月5日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之  
(コード番号 7779 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二  
部 門 責 任 者  
(電話 029-869-9981)

## 鎌倉市が女性救急救命隊員の負担軽減のため作業支援用 HAL®導入 ～ 神奈川県内では海老名市に次いで2例目～

神奈川県鎌倉市は、救急隊員の活動時の負担軽減や女性消防隊員の活躍推進を目的として、当社の装着型サイボーグ HAL®腰タイプ作業支援用 (以下「作業支援用 HAL®」) を10月5日 (月)に鎌倉市消防本部に導入して運用開始することを発表しましたので、お知らせいたします。今回の作業支援用 HAL®の配置先は、鎌倉消防署の腰越出張所救急隊と七里ガ浜出張所救急隊、および大船消防署の今泉出張所救急隊の3カ所となります。

なお、鎌倉市消防本部が作業支援用 HAL®の採用を決めた評価ポイントは以下の通りです。

- 1) 軽量コンパクト (女性隊員が装着)
- 2) 背中フリー (救急救命作業の支障にならない形状)
- 3) アシスト力 (ストレッチャー持ち上げや屋内狭所搬送など重作業に対応)
- 4) 防塵・防水 (IEC規格IP54：雨天時の屋外作業に対応)
- 5) 実績 (海老名市消防本部での導入事例)



作業支援用 HAL®を装着し、救急救命訓練を行う救急隊員 (撮影協力：海老名市消防本部)

鎌倉市の発表資料

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kisya/data/2020/20201002.html>



(参考リンク)

神奈川県海老名市消防本部への導入

[https://www.cyberdyne.jp/company/Media\\_detail.html?id=8143](https://www.cyberdyne.jp/company/Media_detail.html?id=8143)

茨城県つくば市消防署への試験導入

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000014.000028199.html>

<CYBERDYNE 株式会社について>

当社グループでは、人とテクノロジーが共生し相互に支え合うテクノ・ピアサポートを軸とした未来社会「Society5.0/5.1」の実現、社会変革・産業変革の実現を目指し、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を扱う「サイバニクス技術」(人・ロボット・情報系の融合複合技術)を駆使して、「ロボット産業」「IT産業」に続く「サイバニクス産業」の創出を推進しています。

当社の先端技術の独自性と優位性は、医療、福祉、生活・職場、生産の分野において、IoH/IoT化(ヒトとモノのインターネット)、ロボット化、AI化されたHALに代表されるサイバニクスシステムをプラットフォーム化し、脳神経系・生理系から行動・生活系に至る様々なビッグデータをクラウドやスパコンとつなぎ、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を融合していく点にあります。当社のデバイスやインターフェースで得られた全てのIoH/IoTビッグデータ(脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI処理等を実現してまいります。また、『サイバニクス産業』の創出を加速させるため、様々な事業連携も同時並行で進めています。詳細は、<https://www.cyberdyne.jp> をご覧ください。

以上